

筑波大学新聞

第310号

編集責任 筑波大学新聞 編集代表 福原直樹
TEL: 029(853)2040-6699
E-mail: shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学 茨城県つくば市 天王台1-1-1

紙面から

小型ヘリコプター	2
ピノコ	3
柔道	8
水泳競技方法論研究室	9
長善館史料館	10
つくば観光大使	11
作物の生育を観察	2
1年生が演奏を披露	3
森下東アジア競技大会優勝	8
センターで泳ぎを分析	9
中野日教授らが書簡を調査	10
講井さんが選ばれる	11
品を開発する場合、筑波大の研究組織が正常細胞ががん化する仕組みを明らかにした後、企業側ががん化を	5
防く植物の成分を分析。その成分の臨床試験を筑波大の附属病院などで行い、最終的に製品化することが可能となる。	6,7
魅力と苦勞	5
マイナースポーツ特集	6,7
特集	6,7
相次ぐ被害	6,7
つくばの防犯を考える	6,7

春日エリアにビル建設



企業や研究組織を誘致

筑波大学と慶應義塾大学や複数の企業が共同で研究・開発を行うビルが来年秋に完成することが分かった。5階建てで、延べ床面積は約6000平方メートル。ビル内は研究室などの垣根を取り払って、研究者同士が自由に行き来でき、組織を越えて協働しやすい環境を整える予定だ。筑波大で産学連携の研究施設が建設されるのは初めて。つくば駅から近く、学外の研究者もアクセスしやすい春日エリアに建てられるため、同エリアの再開発にも結び付きそうだ。(井口彩二 社会学類1年)

高細精医療イノベーション棟

ビルの名称は「高細精医療イノベーション棟」。地域の特徴を生かした研究の推進を目的とする文部科学省の「地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業」の拠点の一つになる。筑波大と慶應大に加え、エーザイ株式会社や株式会社つばはウェルネスリサーチなど地元企業を含む13社が研究室を構え、がんや



松美池にスワンボート

10月15日、第一エリアの松美池に白鳥の形をしたボートが浮かんだ。船体には「博士号」と書かれていて、学生生活課への取材では、ボートを用意したのは筑波大生で、同課に「博士号を浮かべると、松美池の水質の悪さに注目してほしい」と話したという。ボートは大学の許可を得ずに浮かべられたと乗り込む学生もいたという。一方、アンケートでは就

め、同課は16日、安全のために鎖で固定。同課によれば、船体にかかれた「IMAGINE THE FUTURE」の文字は、持ち込んだ学生が、大学の所有物だと見せかけ、いたづらを防ぐために描いた。その後も企画した学生が博士号に風船をつけるなどし、その様子はツイッターで学内外に拡散。「博士号」は一躍、学内外の「人気者」になった。だが、事故の危険性を考え、同課は29日にクレーンで陸に移動している。ある学生は「ほのぼのとした思ふきげに、心が温まった。撤去されるのが少し寂しい」と話しており、今後同課と持ち主がボートの扱いについて話し合う見通しだ。

大学周辺

「防犯ブザーの携帯を」

筑波大学周辺で深夜、女性を狙った路上わいせつ事件(暴行を含む性的嫌がらせ)が昨年に比べ2倍に増えていることが、つくば中央署への取材で分かった。被害者のほとんどは筑波大生で、同署では3月に茨城県石岡市在住、無職の男(38)を、強制わいせつの容疑で逮捕。だがその後も犯行は続いており、凶悪事件に結びつく可能性が高いことから、同署で注意を呼びかけている。事件を機に、本紙では約400人の筑波大生にアンケートを行ったが、就寝時の施錠を忘れるなど、学生の防犯意識の低さが目立っている。(本紙取材班、6、7面に関連特集)

同署によると同様の事件を大幅に上回った。犯行場時に集中。マジョキング中は1〜10月の間に17件発生。所はつくば市春日地区や大久保地区などで、19時〜21時頃に多い。被害者は女性学生がほとんど。被害は深夜に帰宅する女子学生が被害にあっている。被害は深夜に帰宅する女子学生が被害にあっている。被害は深夜に帰宅する女子学生が被害にあっている。

から近づき抱きついたり、スカートの中に手を入れるなど、昨年は押し倒したりした後、金品を盗んで逃走する犯行があったが、今年には窃盗などの被害は無いという。同署によると筑波大周辺の犯行では、サークル活動や学園祭の準備、研究作業などを終えて深夜に帰宅する女子学生が被害にあっている。被害は深夜に帰宅する女子学生が被害にあっている。

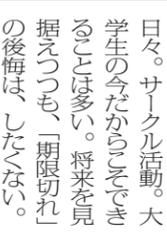
の松美池に白鳥の形をしたボートが浮かんだ。船体には「博士号」と書かれていて、学生生活課への取材では、ボートを用意したのは筑波大生で、同課に「博士号を浮かべると、松美池の水質の悪さに注目してほしい」と話したという。ボートは大学の許可を得ずに浮かべられたと乗り込む学生もいたという。一方、アンケートでは就

め、同課は16日、安全のために鎖で固定。同課によれば、船体にかかれた「IMAGINE THE FUTURE」の文字は、持ち込んだ学生が、大学の所有物だと見せかけ、いたづらを防ぐために描いた。その後も企画した学生が博士号に風船をつけるなどし、その様子はツイッターで学内外に拡散。「博士号」は一躍、学内外の「人気者」になった。だが、事故の危険性を考え、同課は29日にクレーンで陸に移動している。ある学生は「ほのぼのとした思ふきげに、心が温まった。撤去されるのが少し寂しい」と話しており、今後同課と持ち主がボートの扱いについて話し合う見通しだ。



秋が深まるにつれ、冷たい風がキャンパスを吹き抜けた。夏の暑さはどこへやら、早くも冬の足音が聞こえる。厚いコートを着て歩く学生の姿が、少しずつ目立ち始めた。厳しい冬が、もうすぐやってくる。(撮影・パク・ジョンヒョク=物理学類3年)

財布の中身を整理すると、以前買った電車の回数券が出てきた。ちよと帰省の予定があり、「渡りに船」と回数券を見ると、期限は1週間前。いくら悔やんでも、「過去は取り戻せない」高校3年の夏、くも膜下出血で祖母が倒れた。受験勉強に追われて、目と鼻の先の祖母の家から足が遠のいていた矢先の出来事。生存率は33%と聞かされた。「どうしても」と会いに行かなくなったのか。そう何度も後悔した。幸い祖母は後遺症もなく退院したが、当時、何度も思い出した歌詞が胸に残っている。もう一度、このようにもどれたらいい。あつてみたいひとがいるの。アニメ「ポケットモンスター」のエンディングテーマ、「ポケットにファンタジー」の一節。子どもの時にかかっていた曲。懐かしい。その時しかできないことがある。だがやり残したことに気づいた時には、「どうも」にはもう戻れない。その当たり前の中に普段は気づかない。だからこそ、今やるべき大切なこと。心を決めていた。12月から就職活動が始まる。だがそこで「将来、ばかりを考えて」「今」を忘れてしまおうと自分と向き合いたい。専門分野の勉強。友達と過ごす日々。サークル活動。大学生の今だからできること。多い。将来を見据えつつも、「期限切れ」の後悔は、したくない。



つくば 歳時記

ICタグ値上げか? 「学生のマナー次第」

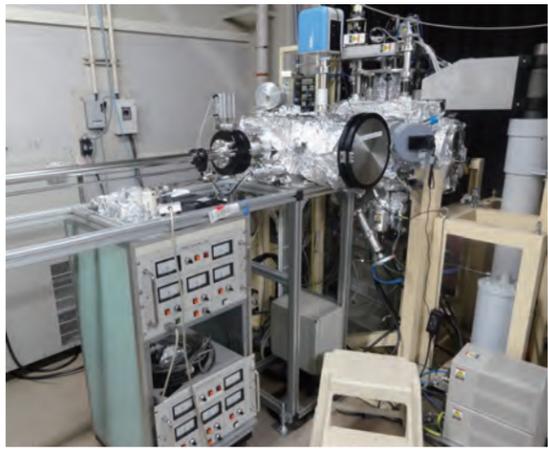
筑波大学が10月から実施した自転車登録制度で、大規模な値上げを検討していることが分かった。値上げ額はまだ決まっていないが「1000円近い可能性もある(学生生活課)」という。27年度から同制度に対する大学の補助金が打ち切られるため、値上げは主に駐輪のマナー違反がないかどうか巡回する人に払う入件費に充てる予定。

在學生は10月11日までに登録すれば、無料でICタグが発行されたが、それ以降の登録や来年度以降の新入生からは発行に1000円がかかる。1000円の内訳は、ICタグ自体の金額の他、発行の際に学生が支払いを行うコンビニへの支払手数料など。学生生活課の土子昇専門員によると、大学側は来年度までは同制度に補助金を出さず、今年度の補助金は約1440万円だ。これらは10月11日まで無料で発行したICタグの費用に使われた他、人件費などの「運営費」として用いられる。だが再来年度以降は、補助金が出ない見込みで、値上げは主にこれら運営費(年間約3000〜6000万円)に充てられるという。

土子専門員は「駐輪マナーが悪い学生が多い場合、自転車の撤去や巡回などのために運営費自体もかさむ。学生のマナー次第で値上げ額が決まってくる」と話している。



筑波おはなし



コバルトフェライトを薄膜化する装置

喜多英治教授(数物系)の研究チームは10月15日、柳原英人准教授(同)らパソコンなどの記録媒体と

世界初 コバルトフェライトを薄膜化 HDD開発が安価に

して使われるハードディスクの材料となる物質「コバルトフェライト」の薄膜を量産可能な方法で作ることに世界で初めて成功したと発表した。この薄膜を使えば、高価な白金で作られる従来のハードディスクと同等の性能を維持できるため、ハードディスク駆動装置(HDD)の低価格化につながる成果として注目されている。

ハードディスクは通常、金属板上の磁気の強弱を操作することで情報を記録する。白金にはその上の磁気の強弱を変化させにくい性質があるため、現在主流のハードディスクに使われている。だが、白金は埋蔵量が少なく、近年は需要の高まりから価格が高騰。白金に代わる材料の開発が急務だった。

比較的手軽に、現在主流のハードディスクに使われるコバルトフェライトを数マイクロメートルまで薄膜化した場合、情報記録の上で白金と同じ性質が生じることは以前から知られていた。だが量産して白金をしのぐ性能を実現できた例はなかった。

そこで研究チームは量産に適した既存の薄膜製造方法の一つである「スパッタリング法」に注目。これを基にした独自の手法で、白金に匹敵する良質なコバルトフェライトの薄膜を安定して作ることに成功した。

今後、電機メーカーと協力して実用化に向けた研究を進める予定で、将来的にはハードディスク以外の製品への応用も期待されている。

小型ヘリコプターで 作物の生育を観察



上=ハイビジョンカメラを搭載した無線操縦ヘリコプター 左下=「超解像」で加工した画像、右下=加工前の空撮写真

延原肇准教授(シス情)の研究室は独自の画像処理技術を使い、無線操縦する小型ヘリコプターで農地を空撮して作物の生育状況を画像で確認できるシステムを開発した。簡便で高精度な観測方法として、大規模農業での活用が期待される。

機体の制御の問題からヘリコプターの撮影高度を下げるのは難しく、これまでには鮮明な画像しか手に入らなかった。だがこのシステムでは、事前に撮影した画像と照合し解像度を高める「超解像」と呼ぶ技術を使うことで、上空約10メートルから撮影したもので鮮明に見える。植物の葉や枝を詳細に観察することが可能になった。

空撮に使われるのは無線で簡単に操縦できる小型ヘリコプターで、ハイビジョンカメラが搭載されている。上空約10メートルから農地の映像を撮影した後は、コンピュータで映像から画像を切り出して一枚のパノラマ画像を作成。加工して鮮明になったものを、パソコンなど手持ちの端末から見ることもできる仕組みだ。

今後は、パノラマ画像を3次元の立体画像にする技術や、画像から作物の花や実の数の情報を自動的に取得して知らせる技術の開発を進める。

大規模農家での利用へ

群馬大学との共同研究

肺線維症を防ぐ酵素明らかに 治療薬の開発に期待

島野仁教授(医学医療系)と松坂賢准教授(同)、群馬大学の共同研究グループは肺胞を覆う膜の中にある特定の酵素が、肺が固く縮んで呼吸ができなくなる肺線維症【1】の発症と悪化を防いでいることを明らかにした。

この酵素は肺線維症は肺胞に傷がつき、それを修復しようとする体の過剰な反応が発症の原因と考えられてきた。肺胞は血液中の二酸化炭素と酸素を交換する肺

かにした。肺線維症は患者数が近年増加する一方、治療法が確立されていない病気で、今回の成果はこの酵素の働きを高める治療薬の開発などにつながるが期待される。

これまで肺線維症は肺胞に傷がつき、それを修復しようとする体の過剰な反応が発症の原因と考えられてきた。肺胞は血液中の二酸化炭素と酸素を交換する肺

の重要な組織で、表面は油膜で覆われている。脂肪酸の中には肺胞を刺激するものもあり、この有害な脂肪酸を肺を保護する別な脂肪酸へと変えるのが今回の酵素だ。

同グループは、この酵素が有害な脂肪酸を減らし肺胞が傷つくのを防いでいることから、酵素の増減が発症に関わっていると推測。

新システムmanabaへ ネット出欠管理

2011年に導入された、インターネットを使った授業支援システム「moodle」の運用が来年度7月に終了し、新システム「manaba」へ移行することが分かった。新システムでは授業資料の配布など従来の機能に加えて、出欠管理を行えるようになる他、スマートフォンからも使えるようになる。

喜多教授は「自然界から採れる物質が足りなくなってきたのが実状だ。これからは安定して供給できる良質な材料を開発していきたい」と抱負を語った。

外部業者に委託することを決定。長谷部浩一助教(シス情)は「学生はもう慣れたインターネットに慣れた教員にとっても、使い勝手が良いものになっている」と語った。

グループ市と姉妹都市に 教育や研究環境の整備へ

研究学園都市として市を挙げて研究を支援するつくば市と、フランス第2の研究拠点・グループ市が姉妹都市協定を結ぶことが決まった。両市はこれをきっかけに、教育やスポーツ分野の他、研究環境の整備で更なる連携を図る。フランスのグループ市と共同研究を行っている黒田真司教授(数物系)は今

回協定について「外国人学校の設立などを通して外国人研究者の子弟に対する教育が充実し、研究者が安心して両市に滞在できる環境がつけられる」と語った。筑波大学では数物系が2002年に同市にあるジョセフ・フーリエ大学と交流協定を結んでおり、互いに研究者や学生を派遣している。大学院生

が専攻分野に関連する学位を取得できる共通の制度をつくることも提案されており、今回の締結はこのような取り組みを後押しするものとして期待されている。

相互に事業所を設置 学生・教員の交流促す

筑波大学とフランスのボルドーセガレン大学は10月、両大学間の海外事業所の相互設置に関する覚書の調印式を行った。式には永田恭介学長の他、ジュヌヴィエーヴ・フィオラソム高等教育・研究大臣とチュノンド・ララ・マニエール同大学長らが出席。相互の大学への事務室設置などを

通じて学生・教員の交流を促進することを確認した。筑波大は生命環境系が2008年にボルドーセガレン大との共同研究を始め、なごきかけに交流が始まり、09年の大学間交流協定をへて今回の覚書の調印に至った。

調印式後には、フィオラソム大臣と筑波大に在籍するフランス人留学生、フランスへの留学経験がある日本人学生との懇談も行われ、活発な意見交換があった。



調印式に出席する永田学長

【訃報】
渡邊 良雄氏(わたなべ・よしお)筑波大学名誉教授)10月8日、肺炎のため死去、82才。
1908年4月から92年3月まで筑波大副学長を務めた。

ピアノ愛好会デビューコンサート 1年生が演奏を披露



ピアノを弾く西川さん

芸術系サークル「筑波大学ピアノ愛好会」が10月11日、アルスホール(つくば市吾妻)でデビューコンサートを行った。

美しい旋律を奏でる

今回のコンサートで1年生13人が舞台デビューを飾り、練習の成果を披露。また、演奏はもちろん、音響・照明など会場の運営も全てサークルのメンバーが行った。

コンサートでは、ラヴェル作曲の「亡き王女のためのパヴァーヌ」や坂本龍一作曲の「戦場のメリークリスマス」など14曲を演奏。美しい旋律が会場に響き渡り、演奏が終わるたびに観客から大きな拍手が起った。

ドヴォルザーク作曲の「スラフ舞曲第一番」を演奏した山内駿さん(社会学部1年)は「満足いく演奏ができた」と笑顔で話した。会長の鈴木啓史さん(知識図書3年)は「1年生のレベルが高く良いコンサートになった。今後も定期的

にコンサートを開き、お客さんに良い演奏を聴いてもらいたい」と語った。

筑波大学今昔展

過去・現在の写真を展示 40年を振り返る

筑波大学の今と昔の様子を写真や映像で紹介する展覧会「筑波大学今昔展」が10月1日から11月10日にかけて大学会館アトススペースなどで開催されている。これは筑波大学開学40



キャンパスの写真を眺める来場者

100周年記念事業の一つで、芸術系ギャラリーでは、キャンパスの建物の建設を記録した映像作品「新しい学園をつくる」筑波大学建設記録」を上映。映像では第一〜三エリアや体育・芸術エリア、附属病院などの工事開始から完成までの過程が紹介されている。大学会館アトススペースで開かれているのは、1990年3月まで芸術系

第19回関東吹奏楽コンクール

神奈川大と共に金賞受賞 全日本大会出場ならず

第19回関東吹奏楽コンクールの大学の部が9月22日にひたちなか市文化会館(茨城県ひたちなか市)で行われ、筑波大学は神奈川大学と共に金賞を受賞。だが今年から夏休み開始が1カ月遅れたことも響き、6校中1校のみが獲得できる全日本吹奏楽コン

クールへの出場権は、惜しくも神奈川大のものとなった。団長の村上駿平さん(物理3年)は「授業がある期間中はどう練習量を確認するか悩んだ」と振り返った。コンクールで演奏したのは課題曲と自由曲の2曲。課題曲は、さまざまな楽器の奏でるメロディーが折り返り、砂の模様や形が変化していく様子を想像させる「流沙」(広瀬正憲作曲)を演奏した。自由曲は「愛の形は万華鏡のように移り変わっていく」という意味の「ラ・フォルム・ドゥ・シャク・アムール・シオン」ジュ・コム・ル・カレイドスコップ(天野正道作曲)。村上さんは「全日本(吹奏楽コンクール)出場が目標だったので悔しいが、金賞を受賞できたことは誇りに思う」と語った。

附属図書館特別展

前身校教員を紹介 貴重な資料の展示も

筑波大学開学40周年記念事業の一環として、附属図書館特別展「知の開拓者(パイオニア)たち」筑波大学開学40周年100周年記念特別展」が10月21日から11月22日まで、中央図書館1階の貴重書展示室で開催されている。

今回の特別展では東京教育大学を含む筑波大の前身校に焦点を当て、館長を務めた経験があるなど図書館にゆかりのある前身校教員の業績を、所蔵資料と共に紹介している。東京師範学校図書館の初代主任を務め、後に東京文理科大学附属図書館の館長にも就任した三宅末吉さんは歴史学などの研究者で、三宅さんが多くの貴重資料を収集・保管していたことで、これらの歴史的価値が高められたという。会場には資料の一つとして、水戸藩主徳川斉昭が対外関係のあり方についての幕府への進言を記した著書「建議書『水府公献策』」の写本が展示された。

この他にも貴重な資料が数多く展示され、来場者は一つひとつの資料に見入っていた。

鳥インフルエンザウイルスの 人間への感染力を調べる技術



▼変化なし(感染しない)

▲発光しているので人間に感染するウイルスだと分かる

川口敦史助教(医学医療)は、鳥インフルエンザに感染した鳥のウイルスが、人間に感染するかどうかを30分で判断できる技術を開発。研究にはウイルス学などが専門の永田恭介学長も関わった。この技術を使えば、感染した鳥が見つかった際、すぐ検査でき、感染拡大の迅速な防止が期待される。これまでは、感染した鳥の体液を研究機関に送って検査するしかなく、判定まで4〜5日かかった。同研究グループは現在、3年後には実用化したいと考えている。

インフルエンザウイルスは動物の細胞の表面にあるとげにくっつくことで感染する。人間と鳥では細胞のとげの形が異なるため、鳥インフルエンザは通常人間には感染しない。だが、ウイルスは増殖の過程で変異することがあり、鳥インフルエンザが人間へ感染することがある。

そこで同研究グループは、人工的に作った人間の細胞のとげに鳥インフルエンザウイルスがくっつくかどうか簡単に分かり、感染が起ったその場で検査できるように、検査時間が30分に短縮される。鳥インフルエンザの主な感染源はニワトリで、2000年ごろから人への感染が問題となった。今年、春に中国で人への感染が見つかった新型ウイルスについて話した。

は、10月までに138人が感染、45人の死亡が確認された。同月26日までに中国の大学がワクチンを開発したと発表したが、これまでは見られなかった人から人への感染も疑われており、懸念されている。

中国などでは鳥インフルエンザの主な感染源であるニワトリが生きたまま市場で売られており、人間と接触する機会も多い。市場で感染が拡大すれば、人間にもすぐに感染が広がるおそれがあり、警戒が必要とされている。

交通・防災・食育で研究 政策・教育に生かす

筑波大学と茨城県神栖市は今年4月から共同で「まちづくり推進事業」に取り組んでいる。これは同市が東日本大震災で津波や液状化などの被害にあったことを受け、2011年11月に締結された「震災復興に向けた連携及び協力に関する協定」に基づき、筑波大は同市が課題を抱え

る「交通」「防災」「食育」の3分野で研究を行う。来年3月をめどに成果をまとめ、その成果は政策立案や小・中学校での教育に役立てられる。

まず4月に市が3分野の選定を行い、5月末には筑波大が各研究室を対象にその3分野に関する研究テーマを募集。11の研究室から応募があり、その中から「地域公共交通」「マンパワー活用による防災のまちづくり」「食育を通じた健康なまちづくり」の3つのテーマが選ばれた。

「地域公共交通」は鈴木勉教授(シス情報)が担当するプロジェクトで、交通機関の運行・利用の状況を調査し、地域ごとの需要や所要時間に見合った交通システムの構築を目指す。糸井川栄一教授(同)が

進めるのは「マンパワー活用による防災のまちづくり」。防災への対応力を高めるために、海沿いの同市波崎地区にある波崎小学校で災害時対応についての教育を行ったり、地域住民へのアンケートを実施。その結果を踏まえて、学区ごとに災害が起った際の行動計画を立てる。

「食育を通じた健康なまちづくり」は麻見直美准教授(体育系)が担当する。市民の死因の6割が生活習慣病だという同市の現状を踏まえ、病気を未然に防ぐ目的で、小・中学校を対象に食生活についてのアンケート調査や食についての教育を行う予定だ。

同市政策企画課の安井貴弘係長は「震災復興で終わらせず、今後の更なる発展につなげたい」と話した。

鳥インフルエンザウイルス

30分で人への感染力を検査 3年後実用化の見込み

川口敦史助教(医学医療)は、鳥インフルエンザに感染した鳥のウイルスが、人間に感染するかどうかを30分で判断できる技術を開発。研究にはウイルス学などが専門の永田恭介学長も関わった。この技術を使えば、感染した鳥が見つかった際、すぐ検査でき、感染拡大の迅速な防止が期待される。これまでは、感染した鳥の体液を研究機関に送って検査するしかなく、判定まで4〜5日かかった。同研究グループは現在、3年後には実用化したいと考えている。

インフルエンザウイルスは動物の細胞の表面にあるとげにくっつくことで感染する。人間と鳥では細胞のとげの形が異なるため、鳥インフルエンザは通常人間には感染しない。だが、ウイルスは増殖の過程で変異することがあり、鳥インフルエンザが人間へ感染することがある。

そこで同研究グループは、人工的に作った人間の細胞のとげに鳥インフルエンザウイルスがくっつくかどうか簡単に分かり、感染が起ったその場で検査できるように、検査時間が30分に短縮される。鳥インフルエンザの主な感染源はニワトリで、2000年ごろから人への感染が問題となった。今年、春に中国で人への感染が見つかった新型ウイルスについて話した。

は、10月までに138人が感染、45人の死亡が確認された。同月26日までに中国の大学がワクチンを開発したと発表したが、これまでは見られなかった人から人への感染も疑われており、懸念されている。

交通・防災・食育で研究 政策・教育に生かす

筑波大学と茨城県神栖市は今年4月から共同で「まちづくり推進事業」に取り組んでいる。これは同市が東日本大震災で津波や液状化などの被害にあったことを受け、2011年11月に締結された「震災復興に向けた連携及び協力に関する協定」に基づき、筑波大は同市が課題を抱え

る「交通」「防災」「食育」の3分野で研究を行う。来年3月をめどに成果をまとめ、その成果は政策立案や小・中学校での教育に役立てられる。

日ごろの成果を発表 個性あふれる作品並ぶ



展示された作品

前期課程芸術専攻で、洋画・日本画・版画を学ぶ学生29人による第29回M.C展が10月8日〜14日、茨城県つくば市吾妻の「こまねこ」で開かれた。M.C展は日ごろの制作・研究の成果を学外に向けて発表し、今後の制作の糧とする目的で開催されている。50作品中27作品ある日本画の中で、特に目を引いたのは安達まどかさん(芸術2年)の「community cation」シリーズ。この絵には淡い色を重ねた背景に、少し厚みのある鱗のようなものが小さなハートや星の形をかたどっている様子が描かれた。にかわや鉱物が原料の岩絵の具、箔といった伝統的な道具を使い、日本画特有の技法で描かれているものの、現代的で繊細な表現を生み出していた。

その他にも、構図の工夫が凝らされた作品や細部にまで描きこまれた作品など、個性あふれる作品が数多く展示されており、来場者を釘付けにしていた。

反射鏡

今月のテーマ「○○の秋」

ジョギングで

発見する秋

太田ゆき(P.N)

気持ちの良い朝を迎える

と、その日一日が楽しみで仕方がない。今日は何をしようかと、わくわくした気分になる。朝に余裕がある人ほどのような過ごし方をしているのだらう。朝一番

要とせず、一人で好きな時間にジョギングをする。朝一番

記者の声



小川玲

私は、学生の海外インターンシップを支援する

学生団体を利用して、2年生の時に2カ月、ウクライナで言語や文化を伝えるボランティア活動を行った。また、3年の時には大学の交換留学プログラムで韓国に短期留学した。一方で、日本人学生と外国人学生の交流を増やしたいという思いから、留学生と討論を行う活動の他、外国人教員の参加を求めた上で、優れたアイデアを英語と日本語で発信する講演会の企画などに携わった。

その中で見聞きしたのが、きっかけがつかめずに歩み寄れない留学生と日本人学生の姿だった。留学生からは、「日本語を話せず、日本人の友人を作れない」「日本文化を学ぶ活動に参加

間に見える。真の「日常化」の達成には、学生や教職員の意識変革やそれに基づく学内環境の更なる整備が必要だと思

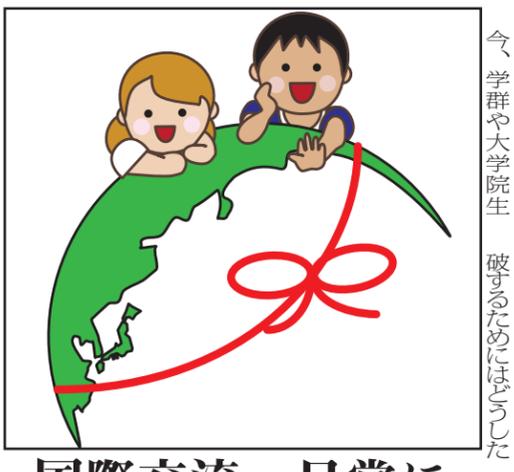
間に見える。適度に体を動かす方が気分転換になると分かった時、私は朝のジョギングを試みた。季節は秋、朝は涼しく運動に適した気候を見てのことだった。

運動は何と気持ちの良いことだらう。胸は弾み、体はほてり心地良い疲れを感じる。何より、ジョギングは私に楽しい一日の始まりを与えてくれる。

例えばある朝、扉に止まった1羽のスズメが、近くのカートミラーをついていた。何をしているのだろうと観察してみれば、ミラーに映ったもう1羽のスズメは、私の身も心もすがすがしくする人は少数派だ。

今、学群や大学院生

破すためにどうした



国際交流、日常に

約1万6千人のうち、平成24年度に交換留学制度を使って留学した学生は全体の0.4%程度にすぎない。また、留学生との交流活動を目的とする学生団体は増えつつあるものの、これらの多くは、活動開始後2〜3年

らいいのか。先に教職員や学生の「意識改革」や「学内環境の整備」が必要、と述べたが、例えば、大学が、学内の国際交流団体の活動を積極的に把握したらどうだろうか。それを基に、交流団体の活動を支援したり、連携

しいもので満たしてくれらる。私にとって秋は運動の秋、ひいては発見の秋だ。ジョギングをしてリフレッシュすれば、また1日が楽しくなる。そうして毎日

まったりと

本を読んで

清水太地(社学3年)

秋は文武や日常生活に実

にさまざまな機会をもたらしてくれる。自分はその中で特に「読書の秋」を取り

上げて、秋の涼しさは小

してイベント企画を行っ

の充実と同時に、「教育の実質化」を掲げている。「学びを社会で生かす体制づくり」が目的だが、それならばグローバル化の波の中、国際社会で必須の「コミュニケーション能力を養う」(参加型スタイル)の授業を増やしても良い。このような授業が増えれば「国際性の日常化」に向け、学生の意識変革は進む

画をどうして提案しては

が積み重なると1年が過ぎ、気が付けば「ものごとを忍耐強く継続できる自分」にも出会っていた。ジョギングでも良いし、ゆっくりとした散歩も良い。運動は、もちろん健康

ウケを狙って

人生に喜びを

石山望(芸専1年)

僕は芸術の中でも面白いもの、とりわけinter

という言葉を得意とす

が重要だ。

このころで、「読書の秋」という言葉の起源を知ら

が求められる」ともしている。大学で「学生が協働し、お互いの活動を補完することができれば、意識変革」につながる。

類4年)

estingなものよりfunnyなものが好きだ(有喜ころで言う)とマズリットの『生活の術』から出てくる面白いと面白いという言葉はfunnyのことを指すと思う。にそう思う。

次号のテーマは

学生宿舎

です

TEL 020-653-6699

shinbun@un.tsukuba.ac.jp

と想像される方が多いでしょうが、全違います。1日500人でやっと採算がとれるのに、300人またはそれ以下の日々が続くのです。そんな苦境の中、松田さんを支えたものは何だったのか、それを知りたい方は、ぜひともこの本を読んでみてください。病に侵されたお母様が来る日も来る日も店先に客を装って座り続けてくださったという部分では、おそらく思わず涙せずにはいられないでしょう。

もはや、シャパン・ドリームは無いと、皆さんはあきらめていませんか。孔子は「後生畏るべ

成功を語るとき、凡人の自分には到底及びもつかないので、読んでも意味が無いと言ってしまう方もいます。私には結果ではなく、そのプロセスに目を向けてほしいと思いま

た。孔子は「後生畏るべ

から認められる瞬間に人は安堵や達成感を覚える。ネタが面白いと認められれば作者は自分のことのようにうれしく、つまらないと言われれば自分のことのように悲しい。

成功の過程に学ぶ

すべては一杯のコーヒーから

松田公太著

タリーズの日本第一号店が銀座に出店した時に客がどれくらい来たかと思いませんか。おそく開店と同時に人の波が押し寄せた

マイナースポーツ特集



2020年東京五輪の開催が決まり、日本全体でスポーツへの関心が高まっている。だが、注目が集まるのはメジャーな花形競技ばかり。今回は競技人口が少なく、知名度も低いマイナースポーツにスポットを当て、選手や指導者の視点から競技の魅力や、マイナーゆえの苦勞を紹介する。(井口彩 原啓一郎 平嶋健人 森脇慎二 社会学類 添島香苗 II 生物学類)

普及の経緯

知名度向上ラート

川聖修教授(体育系)だ。同教授に話を聞いた。ラートは鉄製の大きな輪を二つ平行につなぎ留めたのきかけに体操競技として確立。日本には40年に「操輪機」として輸入され、戦後戦後のパイロット養成器具として使われていたが、終戦後は軍事的なものとして禁止された。88年、当時東海大学の講師だった長谷川教授は、留学先のドイツでラートに出会った。簡単に体が逆さまになれ、重力から解放される楽しさにひかれ、船便で日本へ送った。体操講師として全国を飛び回りつつ出張先でラートを体験。『ハツカネズミの回し車みたい』『洗濯機の中に入った気分』と興味津々で、体験した人は誰もが面白がっていた。95年の第1回全日本ラート競技選手権大会には、長谷川教授を含む約40人の選手が出場した。軍事的に利用された歴史を思い出す人もいるという。また、逆さまになることに怖気づく人もいる。それでも実際に転がることを、その印象は心に強く残る。自分が初めて体験した時の喜びを、さまざまな人に伝えたいという原動力が長谷川教授を動かす。現在筑波大学では共通体育「基礎体育リフレッシュ」の授業でラートを体験できる。また、一部の中学校では体育の授業でラートを導入するなど、教育現場にも取り入れられ始めている。今年7月に開催された第10回世界選手権には、18カ国から選手が参加。テレビで特集が組まれるなど、徐々に知名度が上がっている。



世界大会でのラート競技の様子

ルポ

本紙記者がこれまで一度も見たこともなかったマイナースポーツの一つ、「ライフセービング」に挑戦してみた。

朝6時過ぎ、「ライフセービング部」の朝練習に参加するため、体育センターのプールに向かった。水着に着替え、プールに行く。部長の森大樹さん(生資3年)が笑顔で迎えてくれた。「もしおぼれたらすぐに助けに行きますよ。小麦色に焼けた肌と、引き締まった体が頼もしい。体慣らしにキンキャリー。深さ1.8メートルのプールで、一番大事な人命救助。競技でも、自分ではなげ、救助される人を想い、力をつくすことが求められる」と語る。まず挑戦するのが「マネキン」を運ぶ。最初は練習で、最後は屋内で数十時間のバーベルを持ち上げるトレーニングが

ライフセービング部

「自分の努力が命を救う」

朝6時過ぎ、「ライフセービング部」の朝練習に参加するため、体育センターのプールに向かった。水着に着替え、プールに行く。部長の森大樹さん(生資3年)が笑顔で迎えてくれた。「もしおぼれたらすぐに助けに行きますよ。小麦色に焼けた肌と、引き締まった体が頼もしい。体慣らしにキンキャリー。深さ1.8メートルのプールで、一番大事な人命救助。競技でも、自分ではなげ、救助される人を想い、力をつくすことが求められる」と語る。まず挑戦したのが「マネキン」を運ぶ。最初は練習で、最後は屋内で数十時間のバーベルを持ち上げるトレーニングが

選手の声

「五輪正式種目に」

2009年からエアロビック全日本選手権3連覇を果たし、現在指導者として活躍する諏訪部和也さん(体科1年)に競技をめぐって話を聞いた。

◆エアロビックとは？
音楽に合わせて踊り、技の難易度や表現力の高さを競うスポーツです。国際大会も開催されていますが、日本の競技人口は約3000人と少ない。音楽に合わせて手拍子する観客と一体になって演技できるのが魅力の一つです。

◆マイナースポーツならではの苦勞は何ですか？
小学5年生からエアロビックを始めましたが、当時は練習の環境が整っていませんでした。練習は自宅の部屋で、音楽はYouTubeで探して聞きました。夜9時過ぎ、全ての活動が終わった。森さんの表情に疲れは見えない。「自分の努力が、誰かの命を救うことにつながる。だから毎日練習を頑張る」。ライフセービングの世界にゴールはない。

◆普及のためにどんな活動をしていきますか？
日本エアロビック連盟と協力し、エアロビックを紹介するホームページを作るなど情報発信に取り組みます。今後も普及活動を拡大し、五輪の正式種目にするのが目標です。僕自身も子どもたちに教え、指導者不足も問題です。ジュニア部門(10才以下)の指導者は足りていないと云えますが、シニア部門(17才以上)の指導者はほぼゼロという状況です。海外留学しない限り、外国の選手と対抗できるような練習はできません。

◆今後の展望は？
僕はいずれのオリンピックを求めてフランスに留学しましたが、そこで更に専ら練習を始めて、選手と対抗できるような練習はできません。

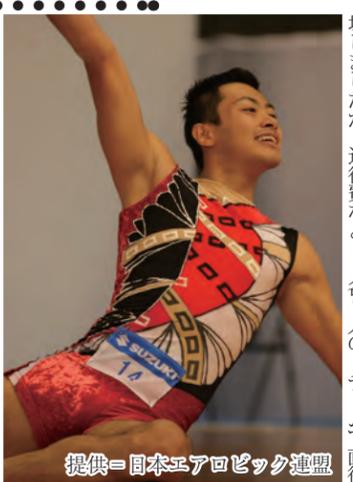
◆アルティメットとは？
各7人の2チームで直徑27呎のフリスティックの円盤を投げ合い、パスをつなぎながら得点を競う競技です。コートは縦横100呎、横37呎で、両端の18呎はエンドゾーンと呼ばれます。相手チームのエンドゾーン内で味方からのパスを受け取ると得点になります。17点を先に獲得したチームの勝利です。

◆普及のためにどんな活動をしていきますか？
またまたマイナーな競技ですが、テレビやスポーツ雑誌などのメディアに登場することが、競技を普及させる一つの方法だと思います。テレビなどでアルティメットを見た人に「実際にやってみよう」と思ってもらえたらうれしいです。

◆マイナースポーツならではの苦勞は何ですか？
競技人口が少ないので、試合をするために必要な人数の選手を集めるのが大変です。大学や社会人のトップチームでさえ監督がいらないのが現状で、指導者不足も問題です。将来的には五輪競技として選ばれることが理想。他のスポーツのように、多くの学校にサークルや部活動ができるように、アルティメットがより身近なスポーツになるとうれしいですね。

エアロビック

音楽に合わせて踊り、技の難易度や表現力の高さを競うスポーツです。国際大会も開催されていますが、日本の競技人口は約3000人と少ない。音楽に合わせて手拍子する観客と一体になって演技できるのが魅力の一つです。



提供=日本エアロビック連盟

ワールドゲームズ

エアロビック、アルティメット(フライングディスク)、ライフセービング……。4年に一度、これらのスポーツが一堂に会する世界大会がある。それがワールドゲームズだ。ワールドゲームズは、この秋秋田大会(秋田県秋田市内)で開幕する。競技種目になるなどでは既存の会場を活性化させる。日本では、これからの競技への資金援助や選手育成が、五輪競技に比べる。

ワールドゲームズは、この秋秋田大会(秋田県秋田市内)で開幕する。競技種目になるなどでは既存の会場を活性化させる。日本では、これからの競技への資金援助や選手育成が、五輪競技に比べる。

世界で人気高まる

中学体育の授業に導入

最近では、中学校の体育の授業にアルティメットが取り入れられ始めています。少しずつですが、知名度は上がってきていると感じています。



40kgのマネキンを運ぶ本紙記者

つくばの防犯を考える



今年、筑波大学周辺では一人暮らしの学生を狙ったマンションへの侵入・窃盗事件や「路上わいせつ」事件が相次いで起きている。このような中、学生は安全についてどう考えているのか。また学生の安全は守られているのか。アンケート調査で学生の防犯意識を明らかにすると共に、実際に犯罪の起きた現場に足を運び、取材した。(鈴木拓也、中島佳奈II人文学類、林健太郎、原啓一郎、平嶋健人II社会学類)

最近の

犯罪被害

つくば中央署、筑波大学近隣の学生生活課へ取材から最近の学生の犯罪被害をまとめた。

窃盗事件

筑波大周辺の天久保・春日で逮捕。それ以降、大学周りで鍵をかけた場合も多発した。

窃盗・わいせつ事件多発

筑波大学周辺の犯罪を取り巻く環境に迫る

現場ルポルタージュ

行政地区	人口	犯罪件数	発生率
天久保	3,769人	246件	6.5%
桜	1,807人	61件	3.4%
春日	7,578人	179件	2.4%
吾妻	7,167人	154件	2.2%
花畑	4,121人	39件	0.9%

筑波大学周辺地区の犯罪発生率

狙い、体を触るなどの行為やトイレでの「のぞき」などが報告されている。

犯罪発生率

学生生活課は、つくば市や同署の統計を基に筑波大周辺の犯罪発生率(人口に対する犯罪件数)をまとめている(二四)。

データによると、学生が多く住む天久保地区などでは窃盗や住居侵入などの犯罪発生率が高く、部屋の施錠を怠ると、学生の防犯意識の欠如が犯罪件数に結びついているとも考えられている。

筑波大周辺では今年1月から学生を狙った深夜の路上わいせつ事件が相次いで起

わいせつ事件

同署への取材によると、筑波大周辺では今年1月から学生を狙った深夜の路上わいせつ事件が相次いで起

防犯

アンケート

約3割の女子学生が、就寝時に窓と玄関の施錠を「全くしない」とあるは「片方だけかける」……。本紙では10月、約400人の筑波大生を対象に犯罪・防犯に対する意識についてのアンケートを実施したが、その浮き彫りになったのは学生の防犯意識の低さだった。また、4人に一人の女子学生が「(学内外で)身の危険を感じたことがある」とも回答。筑波大を取り巻く現状の一端が明るみに出た形だ。アンケートの質問と回答内容は以下通り。

【あなたは家にいる時、玄関の鍵をかけますか】

「必ずかける」と答えた学生が男子では77・2%、女子では81・5%だった。一方、これと別に、就寝時の窓と玄関の施錠について聞いたところ、「全くしない」と答えた学生は男子では39・6%、女子では29・2%に上った。

筑波大周辺では昨年6月、今年6月にかけて、正面玄関のオートロックに過信をかけた学生もいた。

【あなたは夜間、身の危険を感じたことはありませんか】

「身の危険を感じたことがある」と答えた学生が男子では13・6%、女子では26・9%に上った。具体的には「後をつげられた」「声をかけられた」などの質問に答えてもらったアンケートを実施

10月23-25日に、学類の授業後、所属学類や住んでいる地域などを含めた12個の質問に答えてもらったアンケートを実施

男子242人、女子130人、性別無記載41人の計413人から回答を得た。学年別の内訳は、学群1年が169人、2年が143人、3年が55人、4年が41人、院生が3人、無記載が2人だった。

【あなたは家にいる時、玄関の鍵をかけますか】

「必ずかける」と答えた学生が男子では77・2%、女子では81・5%だった。一方、これと別に、就寝時の窓と玄関の施錠について聞いたところ、「全くしない」と答えた学生は男子では39・6%、女子では29・2%に上った。

筑波大周辺では昨年6月、今年6月にかけて、正面玄関のオートロックに過信をかけた学生もいた。

【あなたは夜間、身の危険を感じたことはありませんか】

「身の危険を感じたことがある」と答えた学生が男子では13・6%、女子では26・9%に上った。具体的には「後をつげられた」「声をかけられた」などの質問に答えてもらったアンケートを実施

10月23-25日に、学類の授業後、所属学類や住んでいる地域などを含めた12個の質問に答えてもらったアンケートを実施

男子242人、女子130人、性別無記載41人の計413人から回答を得た。学年別の内訳は、学群1年が169人、2年が143人、3年が55人、4年が41人、院生が3人、無記載が2人だった。

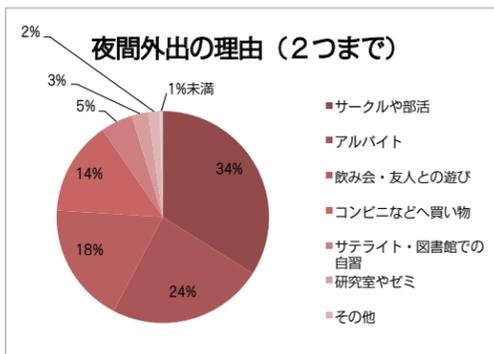
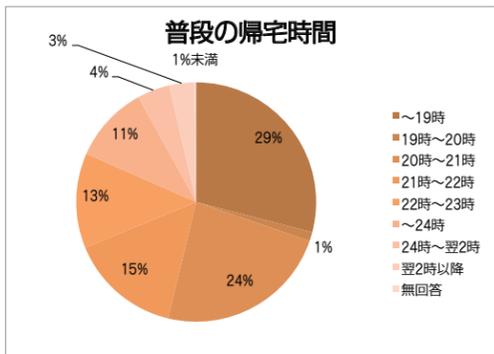
【あなたは家にいる時、玄関の鍵をかけますか】

「必ずかける」と答えた学生が男子では77・2%、女子では81・5%だった。一方、これと別に、就寝時の窓と玄関の施錠について聞いたところ、「全くしない」と答えた学生は男子では39・6%、女子では29・2%に上った。

筑波大周辺では昨年6月、今年6月にかけて、正面玄関のオートロックに過信をかけた学生もいた。

【あなたは夜間、身の危険を感じたことはありませんか】

「身の危険を感じたことがある」と答えた学生が男子では13・6%、女子では26・9%に上った。具体的には「後をつげられた」「声をかけられた」などの質問に答えてもらったアンケートを実施



10月23-25日に、学類の授業後、所属学類や住んでいる地域などを含めた12個の質問に答えてもらったアンケートを実施

男子242人、女子130人、性別無記載41人の計413人から回答を得た。学年別の内訳は、学群1年が169人、2年が143人、3年が55人、4年が41人、院生が3人、無記載が2人だった。



暗い夜道

「真っ暗で30分先も見えない」……。大学周辺で増える路上わいせつ事件。その現場の一つ、つくば市春日4丁目の歩道は夜、街頭もない暗闇が続いていた。



上=現場ルポルタージュのルート 下=筑波大学周辺の事件発生現場

「真っ暗で30分先も見えない」……。大学周辺で増える路上わいせつ事件。その現場の一つ、つくば市春日4丁目の歩道は夜、街頭もない暗闇が続いていた。

ストランで夕食中「被害にあった女子学生が助けを求めて飛び込んできた」という女子大生(21)。「夜は怖いから(照明のある)筑波大内部の道

を通過」という塾帰りの男子中学生(15)。現場を歩き、人々の声を聞いた。

平日の18時過ぎ。筑波大と筑波技術大学に挟まれた道を南に進んだ。道路に街灯はほとんどない。筑波技術大の敷地内には数本の明かりがあるが、うっそうとした木々

に邪魔され、ぼんやりしている。30分先の人影はやっと見えるが、50分先では全く見えない。メモも取れず、歩くには、折通る自動車のライトが頼りだ。

これでは不審者がいても、気づきにくい。道路の両側、特に筑波大側には多くの木が雑然と

枝を伸ばしている。「あそこには人が十分隠れられる。そう考えたらぞっとした。」

道も悪い。歩道中央には点字ブロックが埋め込まれているが、ブロックに接するコンクリートが崩れている。そのためつまづきやすくなることも。落ち葉も多く、滑

る。何かあった時にどうも走ることができない。付近を自転車で通りがかった筑波大の女子学生(21)は「暗くて車道と歩道の段差が見えにくい。歩行者にも気づきにくいから、事故を起こさないか不安と話した。この女子学生は数カ月

前、近くのレストランで

食事をしてた際に「わいせつ被害にあった女子学生が助けを求めて、泣きながら飛び込んできたことがあった」という。

「被害が続いているようなので、(付近を歩くのは)怖いと感じる女子学生もいると思う。」

また、自転車で塾から帰宅途中の男子中学生(15)は「慣れたけど(この道を通るのは)暗くて怖い」という。普段は照明のある筑波大内の道を通るが、急ぐ日はこの道を使う。「街灯が欲しい」と話した。

近くにあった理容店を訪ねた。店主の宮本明広さん(49)は事件があったことは知らなかったが、やはり現場付近は「暗くて怖い」と話し、「大学の木が少なくなれば少しは明るくなる」とも話した。

「あなたは家にいる時、玄関の鍵をかけますか」

「必ずかける」と答えた学生が男子では77・2%、女子では81・5%だった。一方、これと別に、就寝時の窓と玄関の施錠について聞いたところ、「全くしない」と答えた学生は男子では39・6%、女子では29・2%に上った。

筑波大周辺では昨年6月、今年6月にかけて、正面玄関のオートロックに過信をかけた学生もいた。

【あなたは夜間、身の危険を感じたことはありませんか】

「身の危険を感じたことがある」と答えた学生が男子では13・6%、女子では26・9%に上った。具体的には「後をつげられた」「声をかけられた」などの質問に答えてもらったアンケートを実施

10月23-25日に、学類の授業後、所属学類や住んでいる地域などを含めた12個の質問に答えてもらったアンケートを実施

男子242人、女子130人、性別無記載41人の計413人から回答を得た。学年別の内訳は、学群1年が169人、2年が143人、3年が55人、4年が41人、院生が3人、無記載が2人だった。

【あなたは家にいる時、玄関の鍵をかけますか】

「必ずかける」と答えた学生が男子では77・2%、女子では81・5%だった。一方、これと別に、就寝時の窓と玄関の施錠について聞いたところ、「全くしない」と答えた学生は男子では39・6%、女子では29・2%に上った。

筑波大周辺では昨年6月、今年6月にかけて、正面玄関のオートロックに過信をかけた学生もいた。

【あなたは夜間、身の危険を感じたことはありませんか】

「身の危険を感じたことがある」と答えた学生が男子では13・6%、女子では26・9%に上った。具体的には「後をつげられた」「声をかけられた」などの質問に答えてもらったアンケートを実施

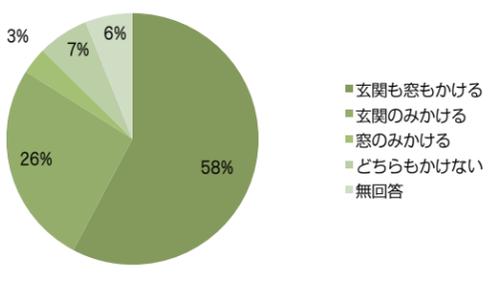
10月23-25日に、学類の授業後、所属学類や住んでいる地域などを含めた12個の質問に答えてもらったアンケートを実施

男子242人、女子130人、性別無記載41人の計413人から回答を得た。学年別の内訳は、学群1年が169人、2年が143人、3年が55人、4年が41人、院生が3人、無記載が2人だった。

【あなたは家にいる時、玄関の鍵をかけますか】

「必ずかける」と答えた学生が男子では77・2%、女子では81・5%だった。一方、これと別に、就寝時の窓と玄関の施錠について聞いたところ、「全くしない」と答えた学生は男子では39・6%、女子では29・2%に上った。

就寝時の窓と玄関の施錠



第6回東アジア競技大会柔道競技

森下が優勝果たす



森下純平

柔道

ピンチ乗り越り 延長戦で勝利

第6回東アジア競技大会の柔道競技が10月14-15日に中国の天津で開かれ、66kg級で森下純平(平成24年度体育専門学群卒・了徳寺学園)が優勝を果たした。

森下は、1回戦でヤン・ヤイファン(中国)と対戦。30秒過ぎに片襟で指導を受けるも、1分過ぎ、相手が

奥襟を取りにくく、低い姿勢で大内刈を合わせると一本勝ちした。

次の準決勝の相手はペーイバータル(モンゴル)。



小林悠輔

小林惜しくも5位 講道館杯に期待

柔道の世界ジュニア選手権大会が10月23-27日にスロベニアのリブリヤナで開催され、90kg級で小林悠

輔(体専2年)が出場するも5位に終わった。

小林は大会3日目の2回戦から登場。2、3回戦を無事勝ち抜き、4回戦で南

アメリカのジュニア選手権の覇者、エンリケ・シルバ(ブラジル)と対戦し、

内股を返されて一本負け。3位決定戦進出をかけた

増地克之監督(体育系・准教授)は「この経験を生かして講道館杯に臨みたい」と語った。

敗者復活戦で小林はクリスチャン・トフ(ハンガリー)と対戦した。互いに終始一歩も譲らず、試合は延長戦に突入。開始と同時に両者は

優位な相手を取ろうとして激しく牽制し合った。だが開始後10秒に、小林が相手の右手の袖口をうまく取り、一気に内股を掛けて一本勝ちした。

野球

首都大学野球秋季リーグ

6勝7敗で4位 接戦勝ち抜けず

9月7日から平塚球場(神奈川県平塚市)などで行われていた首都大学野球秋季リーグ戦が10月21日に閉幕し、筑波大学は6勝7敗、勝ち点2で4位に終

った。リーグ戦序盤で東海大学や日本体育大学など上位チームとの接戦を勝ち抜けなかったことが響いた。

第1週の城西大学戦以降勝ち点を奪えないまま迎えた第5週の帝京大学戦では、1回戦にサヨナラ勝ちするも、2回戦では打線が抑えられ惜敗。続く3回戦でも負け勝ち点を逃した。

だが、最終週の大東文化大学戦の1回戦では宮谷陽介(体専4年)が好投し、打線も8回に1挙に4点を奪うなど好調。5-0で勝利すると、続く2回戦も7-1で完勝し、勝ち点を挙げた。

記録ファイル

◆漕艇 第54回全日本新人選手権大会(10月25-27日、戸田ボートコース)【男子】シングルスカル・越智寛太(体専2年) 7分31秒46 3位 ◆陸上 第97回日本陸上競技選手権リレー競技大会(10月25-27日、日産スタジアム)【男子】4x400リレー・山田涼馬(体専3年)、加藤誠也(同3年)、荒井将徳(同1年)、田中新也(同2年) 3分11秒61 6位 【女子】4x100リレー・中野暉体(育1年)、相馬絵梨子(体専4年)、世古和(同4年)、清山ちさと(同4年) 45秒96 2位

公開シンポジウム

第4回つくばアクションプロジェクト公開シンポジウム「未来の扉をあけるT・ACT」が12月5日(木)の15時40分から総合研究棟Aで開催される。当日は清水一彦副学長による開会挨拶に始まり、T・ACTの事業報告やT・ACT表彰・事例報告などに続いて、人文学類OBでコピーライターの一倉宏さんによる講演なども予定されている。18時から本館棟レストランで交流会が催される予定。問い合わせ029-8553-0269(T・ACTフォーラム) 詳細http://www.t-act.tsukuba.ac.jp

3連覇中の王者 青学に勝利 坂口がピンチを救う



上=ドリブルで果敢に攻める笹山(中央)

下=筑波大学の応援をする観客

第89回関東大学バスケットボールリーグ戦が8月28日から10月27日まで国立代々木競技場第二体育館(東京都渋谷区)などで行われた。男子バスケットボール部は1部リーグで10チーム中5位に入賞したが、昨年度に比べ一ツ順位を下げた。10月19-20日には、筑波大学中央体育館で試合が行われた。19日は白鷲大学に73-78で敗れたものの、20日は青山学院大学に82-75で勝利した。(鈴木拓也=人文学類2年、原啓一郎=社会学類3年)



円陣を組み気を引き締める選手たち

序盤のリードが鍵

筑波大学は、第89回関東大学バスケットボールリーグ戦での7敗のうち、5つの試合で第1ピ

ンチを救ったのは坂口幹(同4年)のスリーポイントシュートだった。「自分が(試合の)流れを変えたかった」。

彼の活躍が会場とチームを一気に盛り上げ、その時は4点差にまで詰め寄られる。

連敗は何としても避けたい筑波大。第3ピリオド開始を前に、選手たちは「絶対に勝つぞ」と気を引き締めた。試合が始まると、笹山を中心に得点を重ね、開始3分で12

点の差をつけてリードした。最後まで点差を守り抜くと66-52で第4ピリオドに突入。だが再び青山学院大が追い上げ、一時は4点差にまで詰め寄られる。

ポイントシュートだった。「自分が(試合の)流れを変えたかった」。

序盤に弱い原因については笹山貴哉(同3年)は「出だしは体が固い」ことを挙げた。また吉田健司監督(体育系・准教授)は白鷲大戦を振り返り「序盤は5人の連携ができておらず、守備が崩壊した」と語った。

その一方で、父兄からリーグ戦の結果は1勝7敗で、10チーム中5位。来年度の更なる活躍が期待される。(平嶋健人=社会学類2年、原啓一郎=同3年)

現に序盤でリードできた青山学院大学戦では、82-75と勝利につなげた。笹山は「昨日の白鷲大戦の反省を生かし、序盤から積極的に攻めることができた」と語った。

リーグ戦の結果は1勝7敗で、10チーム中5位。来年度の更なる活躍が期待される。(平嶋健人=社会学類2年、原啓一郎=同3年)

相手にシュートをなかなか打たせない。相手得点するのには時間がかかり、(相手側は)リードされると厳しい」との評価もある。また池田龍之介(同4年)は「全員で守って、全員で点を取る姿勢が筑波大の強みだ」と話す。チームの長所を生かすためにも、序盤でペースをつかむコツを身に付ける必要がある。

星野リゾート社長 特別講義

株式会社星野リゾート代表取締役社長の星野佳路さんが講師を務める特別講義が12月2日(月)の18時30分から5C棟216で行われる。星野さんは創産した日本のリゾート、宿泊施設の革新的な再生事業、世界的に注目を集める経営者、講義は未来構想大学講座「勇者の鼓動」未来を創るスポーツ王国論の一環として、履修者以外の参加者も募集する。当日は「ヒトが最大の資源!」文化を産業にしていこう価値創造マネジメントに学ぶ」をテーマに、星野さんが自身の経験談を交えながら2時間ほど講演する予定。参加費は無料で、11月22日(金)までにウェブ上の事前申込みが必要。申込みは筑波大学職員、学生のみのみ。先着120人。詳細http://waisports.com/hoshino-contact

吹奏楽団第70回定期演奏会

筑波大学開学40周年記念の筑波大学吹奏楽団第70回定期演奏会が12月6日(金)にパホール(つくば市吾妻)で行われる。曲目は一部「オリエンタル光世」ウインドオーケストラのために、他、2部「ウェスト・サイド・ストーリー」セレクション、他、3部「バレエ音楽『火の鳥』より(1919年版)」他の3部構成。18時開場、18時30分開演。チケットは一般1前売り券400円、当日券600円。高校生以下は無料。チケット予約・問い合わせ090-63347-2460、usb_inquiry@hotmail.com 詳細http://sound.jp/usb/ (筑波大学吹奏楽団公式ホームページ)

筑波大学水泳競技方法論研究室 センサーで選手の泳ぎを分析



上：特殊なプールで平泳ぎをする選手、下：足に付けられたセンサー

競技力の向上を目指す

水泳

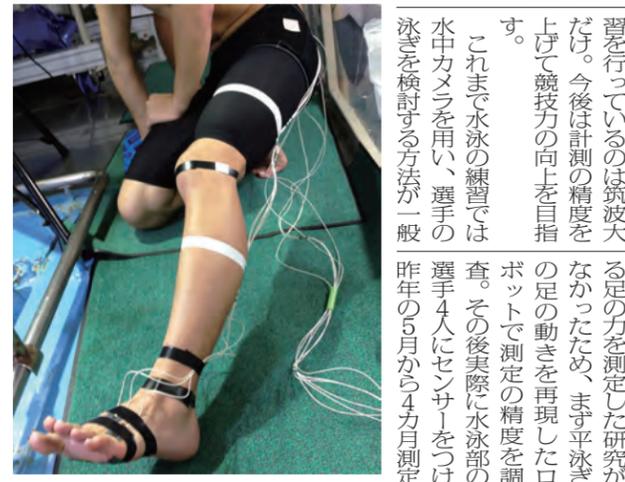
身体に取り付けたセンサーで平泳ぎの時の足の動きを分析し、練習に生かす

角川隆明さん(体科3年)は筑波大学水泳競技方法論研究室が行う水泳部の練習方法が成果を上げている。分析の結果、水をける足の力が10%強くなった他、体力が続き泳げる時間が1.4倍長くなった。日本ではセンサーを使い、選手の泳ぎを評価・改良する練習を行っているのは筑波大だけ。今後は計測の精度を上げて競技力の向上を目指す。

これまで水泳の練習では水中カメラを用い、選手の泳ぎを検討する方法が一般的だったが、選手が水からどのような力を受けているかや、足を水をける強さなどは分からなかった。そこで角川さんはセンサーを使って選手の足の動きを分析する研究を始めた。

だが今までセンサーで足の力を測定した研究がなかったため、まず平泳ぎの足の動きを再現したロボットで測定の精度を調査。その後実際に水泳部の選手4人にセンサーをつけ、昨年5月から4カ月測定を行った。測定では、選手はパソコンにつながれたセンサーを足に取り付け、同じ場所で泳ぎ続けることができた特殊なプールで体力が続き泳げる時間が約200のデータを集めた。

そのデータを元に疲労時の泳ぎの変化や、一回の動作で多く進む時と全然進まない時の違いを客観的に分析。選手が常に同じような泳ぎができるよう、練習に反映したところ大きな効果があった。同研究室は同様の方法を使ってクロールなどの泳法も分析している他、今後はシクロや水球など、他の競技にも今回の成果を生かしたいと考えている。



2連覇の夢消える

「練習・戦略を修正」

ラケビー

関東大学対抗戦が9月15日から12月1日にかけて秩父宮ラグビー場(東京都港区)などで開催されている。10月31日現在、筑波大学は1勝3敗で8校中5位。また帝京大学が4連勝したことで昨年に続く連覇の夢は消えた。

初戦と第2戦共に慶應義塾大学、早稲田大学を相手に連敗という結果を迎えた第3戦の明治大学戦は、10月6日に熊谷ラグビー場(埼玉県熊谷市)で行われ、筑波大が50-10で大勝した。



帝京の選手をかわす福岡

筑波大は開始直後から積極的に攻め、前半1分、相手はゴールを奪い、山内俊輝(体専2年)が先制トライを決める。続く4分にもスピードある連続攻撃から再び山内がトライ。7分と27分にそれぞれトライを許したが、前半は24-10でリードする。

後半に入っても筑波大の猛攻は続いた。後半2分、見事なパスワークで相手を抜き、最後は下釜優次(同4年)がトライ。その後も筑波大は8分、29分、34分にそれぞれトライを決めた。途中に相手が攻撃を仕掛けた場面もあったが、守り得点を許さず、40点差をつけての快勝だった。

だが20日に秩父宮ラグビー場(東京都港区)で行われた第4戦・帝京大戦では3-10で惜敗し、3つ目

顔

点にはつながらず、逆に前半12分にペナルティゴール、30分にはトライを許し、0-10で前半を折り返す。後半は折り返しから、帝京大の強力な守備陣に阻まれ得点できない。後半29分にはペナルティゴールを得て3点を返すが、最後までトライを決められず敗れた。

内田啓介(同4年)は「対抗戦は、後3試合しかないで、しっかり勝てるように練習したい」と話した。古川拓生監督(体専・准教授)は「一瞬のちゅうちょが負けにつながった。今までのトレーニングや戦略を修正していきたい」と厳しい表情を見せた。(12面に関連写真)

けがを克服し夢を追う

サッカーを始めたのは小学生の時。「本当は野球をやりたいかったが、通っていた小学校にサッカーチームしかなかったためとあきらめず入った。そんな気持でサッカークラブに入会した。2年生には強豪校である大津高校に入学。1年生から試合に出場し、2年生には

時代の先輩でもあり、現キャプテンの谷口彰悟(同4年)やディフェン

つかった。1年生の10月、度重なる肩の脱臼で手術を余儀なくされ、約半年間サッカーができなくなった。「同期が試合で活躍しているのを見る



蹴球部次期エース

若杉拓哉 (体専2年)

「そんな彼を支えたのは『年中夢求』。どんな時でも夢を追い続ける」という高校時代の監督、筑波大OB平岡和徳さんの言葉だった。その言葉を思い出し、けがをしていても今の自分のできることをやろうと、グラウンドに行ったり、筋トレに励んだ。トレーニングセンターに通い、トレーナーの指導

「まずはインカレに出て、日本一になりたい。でもそれは通過点。本当の夢はプロになること」と若杉さんは自信に満ちた表情で語る。けがを乗り越えた未来のエースは今も夢を追い続ける。(油布知夏「人文学類1年」)

第77回関東大学サッカーリーグ戦

首位の専修大を制す

インカレ出場権圏内

サッカー

第77回関東大学サッカーリーグ戦後半戦が9月4日から11月24日にかけてShonan BMWスタジアム平塚(神奈川県平塚市)などで行われている。10月28日現在で筑波大学は3位につけており、インカレ出場権獲得圏内の4位以上をキープしている。

10月23日の慶應義塾大学戦でリーグ後半戦初の黒星を喫した筑波大は27日、92-94年に筑波大が達成して以来のリーグ戦3連覇を目指す。

筑波大は試合開始早々から積極的な攻撃を見せる。だが谷口彰悟(体専4年)のパスを受けた曾山慶太(同4年)のシュートは相手GKに止められ、左サイドからのパスに合わせた前原拓哉(同4年)のシュートがゴールバーに弾かれるなど、前半は無得点で終了した。

後半、上村(同4年)へのフアールで専修大の選手が2枚目のイエローカード

第45回関東学生弓道選手権大会

男女共に団体で活躍

弓道

第45回関東学生弓道選手権大会秋季リーグ戦北ブロックが9月15日から10月13日まで、筑波大学などで行われた。筑波大は団体で男女共に北関東ブロックで優勝し、決勝大会進出を決めた。

女子団体は初戦で高崎経済大の60射24中に対し60射36中で勝利すると、その後宇都宮大学戦も制した。第3戦では60射26中の群馬大に対して筑波大は60射40中で勝ち、その後も順調に白星を重ねた結果、優勝を果たした。

男子団体の初戦では筑波大が160射101中(1600回を射った中で101回の当たったこと)を示す)で160射86中の群馬大に勝利し、その後の試合で高崎経済大学と茨城大学を相手に連勝。最終戦では、帝京大学や都立キャンパスの160射86中に対して筑波大は160射113中と大差をつけて快勝した。

女子団体は初戦で高崎経済大の60射24中に対し60射36中で勝利すると、その後宇都宮大学戦も制した。第3戦では60射26中の群馬大に対して筑波大は60射40中で勝ち、その後も順調に白星を重ねた結果、優勝を果たした。



フランシヨコンテ大学 (フランス)

高島優香

フランスのフザンソンに来て約1カ月が経ちました。出国する直前まで...



にぎやかな仲間たちと(右下が高島さん)

国籍豊かな仲間と高め合う

フランスはフザンソンが7割程度に日本人、韓国...

人、スペイン人、マレーシア人、アフガニスタン人、ギニア人と国籍豊か...

旅立つ前は不安ばかりでしたが、今は留学して良かったと心から思っています...

新潟県燕市 長善館史料館 中野目教授ら書簡などを整理・調査

貴重な史料に触れる

中野目教授(入社系)と実習の受講生ら18人は10月3-5日、長善館史料館...

作業では史料を長期保存に適した封筒に入れ、史料名や内容などの情報を専用...

自殺者1万人を救う戦い ドキュメンタリー映画上映 周りの人を気にかける契機に

上映会『Saving 10000』自殺者1万人を救う戦い』が10月18日、3B棟213のプレゼンテーションルームで行われた...

この映画は欧州連合(EU)駐日代表部の経済担当官を務める、映画制作の素人だったダイクナンさんが...

自殺者3万人のうち1万人は自殺する前に精神科でカウンセリングを受けたりと助けを求めている。だが...

日本にはまだ精神科医の数が少なく、自殺防止ホットラインの回線も常にパンク状態となっているという...

来場した男子学生は「参加するまで自殺は孤立感など、当人の感情だけが原因で起る」と思っていた。しかし社会的な問題も関わっていると知り、そのよ...

多くの学生の前で講演する林教授

講演の合間には同教授が「もし自分が突然変異した細胞を発見したらどうするか...」などの質問を投げかけ、参加者たちは「何回も実験を繰り返す」「研究室のメンバーに相談する」と活発に発言した。

アート&デザインプロデュース 霞ヶ浦を自転車一周 観光マップ作成へ

芸術系の共通科目「アート&デザインプロデュース」を受講する学生ら18人と渡和由准教授(芸術系)のグループが10月12-14日、霞ヶ浦周辺の観光マップを作るために自転車一周し、情報収集を行った。



自転車で霞ヶ浦を一周する学生たち

「割烹旅館善久」から小美玉市にある公共施設、「しみじみの家」まで霞ヶ浦の約半周分を走行。学生らは同地域に「こんな観光スポットがあるか」「ここに何かあればより便利か」などと考えたり、地域住民との交流を楽しんだりしながら調査した。

グループの代表者を務める奥村瑛莉奈さん(芸術1年)は「今回のプロジェクトが霞ヶ浦の周辺地域だけでなく茨城県全体の活性化につながる、交流の輪が広がればうれしい」と話した。渡准教授は「霞ヶ浦をさまざまな観光スポットがある楽しい場所だと思ってもらえるようにしたい。そして霞ヶ浦だけでなく、茨城県の他の観光地にも目を向けてもらいたい」と話した。

「謎」に長年取り組み続けた同教授の話に、参加者は興味津々の様子だった。講演の合間には同教授が「もし自分が突然変異した細胞を発見したらどうするか...」などの質問を投げかけ、参加者たちは「何回も実験を繰り返す」「研究室のメンバーに相談する」と活発に発言した。

その土地に何度も足を運んだ研究者たちの目を通すと、ガイドブックに載っていない「何か」が見えてくる。そんな本たちを選んでみました。本を片手に電車に飛び乗るもよし、その土地を訪れた気分になるもよし。この秋、あなたも新しい扉を開いてみませんか。

筑波大学 出版会 特集. 世界遺産 白川郷. 日本の地域 農業. 企業城下町の都市計画. 松尾芭蕉とその門流. 観光戦略としての宗教.

バイオeカフェ ミトコンドリアの謎を解く がんとの関係 明らかに. eカフェが10月15日、総合交流会館多目的ホールで行われた。気軽に生物学を学べる、と人気のこのイベントは今回で74回目を迎える。『ミトコンドリアミス터리2』をテーマに林純一教授(生環系)が講演。同教授は細胞生物学が専門でミトコンドリアとがん発症の関係について研究しており、講演では両者の関係を明らかにするまでの過程について話した。ミトコンドリアは細胞の中核にあり、細胞が活動する際のエネルギー源である。同教授は「謎」に長年取り組み続けた同教授の話に、参加者は興味津々の様子だった。講演の合間には同教授が「もし自分が突然変異した細胞を発見したらどうするか...」などの質問を投げかけ、参加者たちは「何回も実験を繰り返す」「研究室のメンバーに相談する」と活発に発言した。

生物種類と生命環境科学研究科が主催する「バイオeカフェ」. 多くの学生の前で講演する林教授. イベントに参加した男子学生は「普段の授業では聞けない林教授の研究を知ることができて良かった。自分の興味のある分野についての知識を深められた」と話した。

筑波民各位!



学生宿舎に目安箱設置

意見を基に環境向上へ

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の生活環境委員会宿舎班は10月中旬、入居者の意見を宿舎運営に反映しやすくなるため、全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の生活環境委員会宿舎班は10月中旬、入居者の意見を宿舎運営に反映しやすくなるため、

今年度の就職活動、去年みたいに飲食でいいかな? えー、金集めていいかな? うーん、売上微妙だったよ。 それこそ飲食より売上悪くないか? SOMETHING TO PLAY IS NOT UNPROFITABLE みんな大好きな、遊園地があるから、遊園地があるから、遊園地があるから、遊園地があるから

いやこれはダメだろ ポロポロッポロッポロッポロッポロッ 大丈夫だよ。別冊の巻頭で名前を載せよう。名前を載せよう。 そう、そういう問題じゃない。

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の生活環境委員会宿舎班は10月中旬、入居者の意見を宿舎運営に反映しやすくなるため、全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の生活環境委員会宿舎班は10月中旬、入居者の意見を宿舎運営に反映しやすくなるため、



学生宿舎に設置される目安箱

つくば観光大使

讚井さんが選ばれる



ほほ笑む讚井さん

つくば市の魅力を伝える「第8代つくば観光大使」は市内内外から24人が応募の一人に讚井知さん(社会学部)が選ばれた。讚井さんは今年9月から活動を始めており、同市のセグウェイ試乗ツアーなどのイベントに参加している。

第8代つくば観光大使は市内内外から24人が応募の一人に讚井知さん(社会学部)が選ばれた。讚井さんは今年9月から活動を始めており、同市のセグウェイ試乗ツアーなどのイベントに参加している。

つくば市の魅力を伝える「第8代つくば観光大使」は市内内外から24人が応募の一人に讚井知さん(社会学部)が選ばれた。讚井さんは今年9月から活動を始めており、同市のセグウェイ試乗ツアーなどのイベントに参加している。

就活生×内定者交流会

学生目線でアドバイス



就活の経験を語る内定者(右)

今年度卒業の内定者(平成26年度卒業)の就職活動(以下就活)を控える学生(以下就活生)が交流するイベント「ここから始まる就活」が10月16日、3A棟202で行われた。就活を支援する学生団体「TAKE@WAY」が主催し、株式会社共同通信社や全日本空輸株式会社などの内定者16人と就活生約50人が就活に関して情報交換した。

TAKE@WAYは内定者と就活生について相談できる「就活Cafe」を週3回開催している他、定期的に模擬面接・模擬グループディスカッションを行うイベントなどを実施。就職課やキャリア支援室などと協

その後の交流会では、就活生が興味のある業種の内定者と直接話す時間が設けられた。内定者が「面接ではメモを取りつつ熱心に話を聞いて」と話した。同団体代表の長沼ひとみさん(社会学部4年)は、「自分の就活は100%成功したわけではないが、納得のいく就活だった。自分たちの経験が後輩の就活に役立てばうれしい」と話した。

「就活Cafe」は内定者と就活生について相談できる「就活Cafe」を週3回開催している他、定期的に模擬面接・模擬グループディスカッションを行うイベントなどを実施。就職課やキャリア支援室などと協

花火研究会

学園祭の最後を飾る打ち上げ花火。来場者の歓声から離れた打ち上げ場所には、この日のために1年かけて準備を進めてきた、筑波大学花火研究会の姿がある。

花火研究会は、学園祭や宿舎祭で打ち上げる花火の企画を行う。会員が花火そのものを作るわけではないが、打ち上げる時に流す音楽やナレーションを制作し、花火をより美しく見せるのが彼らの仕事だ。打ち上げ当日はプロの花火師を手伝った

夜空に輝く「花火愛」

学園祭の最後を飾る打ち上げ花火。来場者の歓声から離れた打ち上げ場所には、この日のために1年かけて準備を進めてきた、筑波大学花火研究会の姿がある。

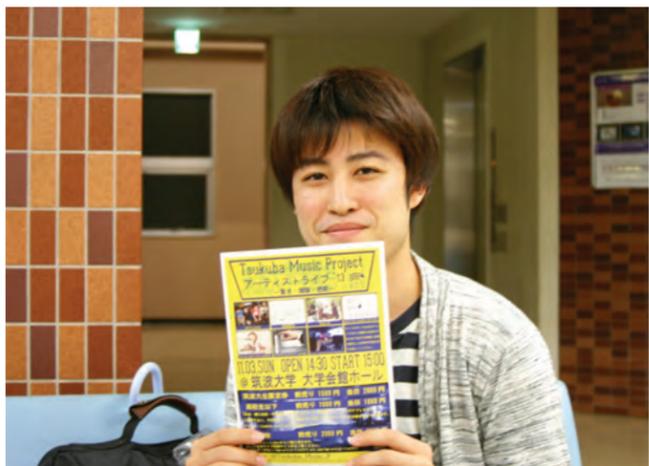
花火研究会は、学園祭や宿舎祭で打ち上げる花火の企画を行う。会員が花火そのものを作るわけではないが、打ち上げる時に流す音楽やナレーションを制作し、花火をより美しく見せるのが彼らの仕事だ。打ち上げ当日はプロの花火師を手伝った

打ち上げ花火の準備も佳境に入った。打ち上げの時には火の粉を頭から被ることもある。しかし、前田さんは「花火を見る人の笑顔が見たいから頑張れる」と語る。一瞬の光の芸術に魅せられた彼らの「花火愛」こそが、打ち上げられた花火を美しく見せる最高の起爆剤なのだろう。(井口彩二 社会学部1年)

Who's Who?

つくばミュージックプロジェクト創始者

重野健斗 さん (化学専攻1年)



つくばミュージックプロジェクトのポスターを持った重野さん

学園祭の目玉企画の一つとして、アーティストによるライブを行う大学は多い。長年筑波大学にその伝統は無かったが、昨年の第38回学園祭では重野健斗さん(化学専攻1年)が学園祭ライブを企画し、エイプリルズ、DE MOUSE、Mop or Headといったバンドが招かれた。知名度こそ低いが、有名ロックフェスに出演するなどの実力派バンドだ。

生で聴くロックの魅力に気付いたのは、大学に入学しライブに行き始めてからのこと。ライブ独特の熱気を、音楽好きな仲間と共有する時間が好きだった。中でも強い印象を受けたのが「つくばロックフェス」だ。つくば市で毎年夏に行われ、つくば出身のアーティストも多く出演する。地方特有の温かさでひかれた。その影響

もあり、いつもの場所ではないものの仲間たちと、ライブという特別な空間を共有できる「学園祭ライブ」にあこがれを抱くようになる。しかし、大学3年の秋まで待っても筑波大のライブは行われなかった。「誰もやらないなら俺がやるか」。大学3年の冬、学園祭ライブを一年間かけて企画することを決意した。

まずは協力してくれる人を集めなければならぬ。ツイッターで呼びかけ、周囲の音楽仲間を誘った。一部の音楽サークルに一人で乗り込み、頭を下げることも。「無理に決まっているじゃないか」という冷たい反応もあった。しかし、学園祭ライブをやりたいという共通の思いを持った人はいた。結果的に、中心メンバーとして7人が集まった。「孤独ではなかった」と話す。

次に資金不足に直面した。大学側からの援助は無い。会場は文学会館ホールを安く借りられたが、出演料をはじめ照明代や機材の調達代など、ライブ

あこがれの学園祭ライブ実現 音楽好きが一つになる

をやるにはお金がかかる。収入はチケット代のみ。赤字は必至だった。このままではライブができない。ふと、会場の白い壁に目が留まった。「ここにライブを盛り上げる映像を映して、照明の代わりにはどうか?」そうすれば、照明代や機材の調達代を削減できる。試みに映像を映したところ、想像以上にうまくいった。こうして行きたいのが、ライブにVJ(ビデオジョッキー)を呼ぶという案。VJとは、流れる音楽に合わせて即興でさまざまな映像を映し出し、場を盛り上げる人のことだ。

筑波大出身者を含む3人のVJを呼ぶことに決めた。肝心のアーティストは、映像が映えるようなバンドをリストアップ。出演料などを考え、3組に絞った。出演者への交渉は、つくばロックフェスの主催者の助けを借りることができた。こうして、手作りの学園祭ライブの形が見え始めた。

そして迎えた2013年10月6日、学園祭ライブ当日。200人を超える観客がホールを埋めた。演奏に合わせて、次々に色や動きを変える映像を、VJがスクリーン代わりの壁に映し出す。音楽と映像が融合した空間が観客を包み込んだ。映像に瞳を輝かせる人や、音楽に合わせて体を揺らす人、楽しみ方を違つものの、全ての観客が「ライブが好き」という思いでつながっていた。それはまさに、重野さんが4年間夢に見続けてきた光景だった。

「学園祭ライブを筑波大の伝統にしたい」と話す。その実現に向けて現在、学園祭ライブ企画は「つくばミュージックプロジェクト(TMP)」として存続し、精力的に活動中だ。代表の座を後輩に譲つたものの、中心メンバーの一人としてTMPを支えている。巻き起こした潮流は、今後も音楽好きな学生を巻き込みながら、勢いを増していくに違いない。(添島香苗 生物学類1年)

編集後記

冷え込みが厳しくなり始めた編集期間。外から編集室に戻った部員の体を温めたのは、Sが持参した昆布茶です。昆布の素朴な味におかわりする部員が続出し、わずか4日で底をつきました。温かい飲み物が美味しい季節ですね。

スポーツの秋といこともあり、私はバスケの試合観戦で声を枯らし、ラートの取材で実際に体験するなど、体当たりで取材に臨みました。筑波大学の選手らのたくましい写真に「格好良い!」とはしゃぐ女子部員たち。世界で活躍する選手に取材できることも、新聞記者の魅力です。

今回の防犯特集で改めて浮き彫りになった、筑波大周辺の危険性。事件に巻き込まれてからでは取り返しがつきません。読者の皆様も、どうぞお気をつけください。(編集長・原啓一郎 社会学類3年)

次号は
12月9日(月)
発行予定です

筑波大学今昔展



筑波大学の四季の風景写真

3面へ

関東大学バスケットボールリーグ戦



シュートをする池田

8面へ

ラグビー関東大学対抗戦



力強くトライを目指す福岡

9面へ

つくば観光大使



観光大使の仕事をする讃井さん

11面へ

学芸

スポーツ

スポーツ

学生生活